

1 会議名 令和 8 年度 第 1 回学校運営支援協議会

2 開催日時 令和 8 年 7 月 24 日（金）13 時 30 分から 15 時 0 0 分まで

3 開催場所 磐井中学校 磐井ホール

4 出席者

(1) 委 員 菊地和哉、小野寺邦芳(欠席)、小野寺康光、加藤 清、澤田直哉、松倉琢磨、千葉美樹子

(2) 事務局 須藤 淳、小崎琢磨、佐々木一成

(3) 熟議出席者 西山恵子 門下希理子 米田智世 大友一篤 熊谷秀雄 新田えつ子 山田 実
村上好永 及川美子 藤原裕己 佐々木紅葉 下新井田琴望 畠山 陽 柴田利行
中山 篤 千葉雄二 千葉大樹 伊藤直生 加藤郁実 菅原奈々子 伊藤淳子
多田直樹 旭 紘太 千葉知恵子 今 拓巳 滝田 基 岩渕瑞穂 菅原隆宏
佐々木芳美

5 議 題

(1) 会長に菊地氏を選出。副会長については第 2 回で選出する予定。

(2) 令和 8 年度 第 1 回学校評価アンケートの結果について

(3) 基本方針について、原案の通り承認された。

(4) 熟議 テーマ「子どもたちのために、学校・家庭・地域でできることは何か。」

ファシリテーター：県南教育事務所 主任社会教育主事 酒井 大輔 様

参加者 委員(6 名)、磐井中学校職員(32 名) 計 38 名 10 グループによる熟議

6 公開、非公開の別 部分公開

7 傍聴人 1 人(岩手県教育委員会 事務局 生涯学習文化財課 社会教育主事 熊谷 啓之 様)

8 議事内容

(1) 令和 8 年度 第 1 回学校評価アンケートの結果について

ア 報告

事務局(副校長)から、1 学期末（生徒：6 月 22 日(月) 保護者・教員：6 月 25 日(木)）に実施した第 1 回学校評価アンケートの結果について、報告した。

報告内容は以下の通りである。

- ・肯定的評価の高さから、本校の教育活動は着実に成果を上げていること。
- ・一方で、表現力や自己管理といった項目で、生徒と保護者・教員で評価結果に乖離があったこと。
- ・表現力や自己管理といった内面的資質については、質的向上の段階であること。
- ・熟議で、「自己管理ができる生徒を育てる」という視点で意見交換のお願いしたいこと。

(2) 熟議について

テーマ「子どもたちのために、学校・家庭・地域でできることは何か。」

ファシリテーターとして、県南教育事務所 主任社会教育主事 酒井 大輔 様により、熟議を進めていただいた。参加者は、委員 6 名、磐井中学校職員 32 名、計 38 名で、4 名で 10 グループに分かれた。熟議の流れは以下の通りである。

ア. 熟議の趣旨説明

- ・グループで自己紹介 ・熟議の役割(学校・家庭・地域)分担

イ. 課題発見ワーク

- ・「自己管理できる子ども」とグループの机上有る円形模造紙の中央に記入する。
- ・ピンクの付箋に「気になる現状」を書く。ブルーの付箋に「うまくいっていること」を書く。

ウ. ①「なぜそうなるのだろうか」

- ・視点「子どもの自己管理が難しくなっている原因は何か」ピンクの付箋について、イエローの付箋に「その原因になっていること」を書く。

エ. ②「私たちに何ができるか」

- ・視点「学校・家庭・地域でそれぞれできることは？」
- ・グリーンの付箋に、学校・家庭・地域で「できそうなこと」「やってみたいこと」を書く。
- ・その中で、「やってみよう！」と思うものを3つにシールを貼る。

オ. 全体共有（他のグループではどんな案が出されたか）

- ・他のグループをまわり、「いいね！」にシールを貼る。

カ. 振り返り

- ・シールの数を参考に、学校・家庭・地域で「できそうなこと」をそれぞれ1つずつ選ぶ。
- ・前のホワイトボードに記入し、全体共有する。

【学校】

- ・親子でのスマホのルール作り（PTA取組学校） ・出前授業 ・様々な大人に出会う。
- ・総合等での地域の方との協働を進める。 ・意図的な場づくり(生徒会)
- ・親が学校に気軽に来ることができるような工夫。 ・失敗してもやらせる。
- ・道徳で考えさせる。 ・教師からも元気な挨拶。
- ・「まなびポケット」でダイレクトに親に連絡をする。

【家庭】

- ・毎日の出来事を話す(団らん) ・休日に親子のコミュニケーションを図る「何か」をする。
- ・会話(話題を持ちかける。共通の何か。) ・地域交流 親が関わりを見せる。あいさつ。
- ・まず家の中でしっかり挨拶する。あいさつの良さを伝える。 ・子どもの話を聞く。
- ・親は仲良く。家族の時間づくり。 ・親も子どもと一緒にスマホを使う時間を制限する。
- ・家でやることリストを作成して、自分のタイムスケジュールを立てる。
- ・食事などの中で会話を増やす。

【地域】

- ・地域の活動に子どもと一緒に参加してみる。 ・自治会や子ども会の行事への参加。
- ・普段からの声かけ→信頼関係→イベントのボランティアへの参加
- ・複数での見守り活動→学校への情報提供 ・学校での授業や行事に地域の人材を派遣する。
- ・朝の登校指導での挨拶等 ・地域から子どもへ関わる。(ボランティア) 地域行事への参加
- ・ダメなことは叱る！！ ・目標となるものを経験させてあげる。